

事業所名

KTC放課後等デイサービスはぐぼん南福岡

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人理念		すべての子どもたちに多様な機会を提供し子どもの未来の選択肢を広げる											
事業所の理念		遊びや集団活動を通して、社会生活の中で必要な様々な能力を身に着け向上していけるよう支援します。 初めて経験することでも「できた」と感じられるような課題設定や、小集団で安心しながら、自ら楽しんで学ぶことができる環境を提供していきます。保護者様と情報共有を行い、学校・相談支援事業所等と連携しながら、寄り添った支援を行います。											
支援方針		KTC放課後等デイサービスはぐぼん南福岡では、「元気に！」をテーマに、「遊び」を通して、精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行います。また、様々な活動を通して周囲に関心を持ち、集団意識を高め、保護者の方々と共に考えながら総合的に発達を促せるよう無理のない計画を立てて実施します。  事業の実施にあたっては、関係区市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。 適切なアセスメントの実施による個別の特性を踏まえた支援を確保し、来所後の日常生活の中でスタッフやお友達との会話・学習支援・お友達との遊びなどを通して5領域（健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性）をすべて含めた総合的な支援を提供します。											
営業時間		平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	事業所で定める送迎エリア範囲（学区）内において実施します
		学校休校日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで		なし	事業所で定める送迎エリア範囲外の場合は保護者送迎とします
支 援 内 容													
健康・生活		健康な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促す。 ・健康状態の維持、改善。（体温測定・体調管理・手洗いうがい・体調の自己把握） ・生活リズムや生活習慣形成。（事業所流れに沿った行動） ・基本的生活スキル獲得。（排泄・おやつ時手洗いの徹底・片付け・おやつの準備）											
運動・感覚		学習時の姿勢保持、感覚の特性への対応を支援し、日常生活や学習活動における支障を軽減し自己肯定感を高める。 ・座る姿勢、文字を書く時の姿勢確認、保持 ・手先の巧緻性を高める訓練 ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応や環境整備 ・ビジョントレーニング											

本人支援	認知・行動	<p>発達レベルに応じた各教科学習支援、認知の偏りに対する予防や誤認識による行動に対する支援等、状況に合わせた対応力や認識のずれなどについて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルを自ら確認し行動できるよう支援し時間認知形成を促していく</li> <li>・発達に合わせた学習認知形成</li> <li>・ブロックワークによる空間把握および認知形成</li> <li>・小集団における活動での適切な行動形成、認知の偏りに対する支援</li> </ul>	
	言語コミュニケーション	<p>適切なコミュニケーション能力の獲得や社会生活における関係性の向上を活動プログラム等を通し、社会生活の中で必要不可欠な言語能力の向上を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に合わせた「あいさつ」終わりの会等での活動振り返り等による言語表出・受容</li> <li>・障害の特性に応じた読み書き能力の向上を支援</li> <li>・ルール等を絵カードを使って視覚化する等の、視覚優先の観点に配慮し作成した掲示物等による環境整備を通した支援をする。</li> <li>・コミュニケーション能力向上支援として、上級生が下級生に自ら色々と教えるまたは、年齢に関係なく「できる子」が「苦手な子」に色々と教えていける環境を整える。</li> </ul>	
	人間関係社会性	<p>ルールに合わせた行動等や他者との関係向上の手助けや助言等の支援を通し、将来必要となる「自ら人間関係を作る」または「関係修復」をするための支援を実践的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アタッチメント形成</li> <li>・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ、移行を促しながら社会性の発達を支援し、学校生活で必要となる能力の向上を狙う</li> <li>・ルールの理解が必要な遊びや集団活動により、協調性やなゼルールを守るのか等の倫理を学べるよう支援する</li> <li>・自己の行動や感情を理解しコントロールできるようにする支援として、アンガーマネジメントや感情を言葉で伝えるための語彙力等を高めていける支援を行う</li> </ul>	
家族支援	<p>送迎時に学校やご家庭での様子を共有する時間を設け、かつ連絡帳にて情報共有を行い、必要に応じてご家庭内での支援方法等についての相談等を実施します。</p> <p>定期的な面談や日頃の様子や課題について保護者様と話し合い、お子様の成長に必要なことを共に考えていく体制を整えています。</p>	移行支援	<p>ライフステージに合わせた移行準備や地域とのつながりを一緒に考え、子どもと家族のニーズやペースに合わせて、移行先と連携し支援内容・方法を共有する。</p> <p>段階的に移行を進める新環境に適応出来るように継続的サポートもします。</p>
地域支援・地域連携	<p>子どもに関わる関係機関（保健、医療、福祉、教育）との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助を必要に応じて実施しています。</p> <p>相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携を実施しています。</p> <p>インクルージョンの観点から、地域で開催されるイベントまたは各種コンクール等への参加を推奨し、社会参加及び地域社会への交流を実施しています。</p>	職員の質の向上	<p>日々の業務の中でPDCAサイクルを意識し、療育実践後の記録の際には、職員全体で振り返り次の活動内容について検討し、保護者様からの情報や子どもの様子等を職員全員で共有し支援の向上へ繋げています。</p> <p>社内カレンダーにて定めた職員会議では、発達特性・子どもや子育てについての社会情勢等・安全計画・虐待防止・感染症対策又は予防・緊急時対応等を実施しています。</p> <p>その他には、各種研修会にも積極的に参加し支援の質の向上に努めています。</p>
主な行事等	別紙参照		